



お台場学園だより



平成28年11月号
港区立小中一貫教育校
お台場学園
〒135-0091 港区台場1-1-5
小学校 03-5500-2572
中学校 03-5500-2575

開校20周年を迎えて

副校長 小牧 英男

十月は、夏日となる日があるなど、いつまでも暑さを感じる日が多く、例年になく秋の到来を待ち遠しく感じていました。

先日の学芸発表会には、たくさんの保護者や地域の方々にご参観いただきありがとうございました。各学年や部活動などで発表に向けて、分担や役割を決め練習を重ねてきました。友達と話し合い、協力して一つのものを完成させていく過程を通して、子どもたちは大きく成長しました。皆様方の励ましのお言葉やご声援をいただいたことで、子どもたちは、これまで努力してきたことに自信を持つことができましたと思います。

さて、いよいよ11月12日（土）に、にじのはし幼稚園、お台場学園港陽小・中学校の開園・開校20周年記念式典と祝賀会を開催いたします。

にじのはし幼稚園と港陽小・中学校は、このお台場の街ができればはじめると同時に誕生しました。

昭和63年のお台場の航空写真をみると、海岸に植林こそされていましたが、その他に建物はなく、全くの更地のままの姿が写っていました。その頃の私のお台場のイメージは、ウインドーサーフィンの盛んな場所でした。

その後20数年が経ち、平成22年世田谷の学校に勤務していた私は、4年生の校外学習で、このお台場を訪れました。テレコムセンター駅近くにある「東京みなと館」で、臨海副都心としての開発計画と現状を学びました。20階から見えるお台場の街の様子を、時間を忘れて見ていたのを覚えています。今の私のお台場のイメージは近未来の街と変わりました。

お台場の街は全く何もないところから計画的に作られてきました。そのため、街全体がよく整備されていて、景観もすばらしく、学校から見える夕刻のお台場海浜公園の景色は、毎日見ても飽きることはありません。お台場は今ではすっかり全国的に観光の街としてのイメージが定着しているように思います。

しかし、お台場学園に勤務することになって、お台場はそこに住む人たちが、住みよい街を目指したコミュニティを作っている地域であることがわかりました。

青少年委員の皆様や芝浦港南総合支所をはじめ、地域の保育園や幼稚園、民間企業などの方々がお互いに協力し合って地域の活動を盛り上げています。

お台場学園でも、地域の自然や環境、人材を活かした学習活動に取り組み、PTAと共に、地域の様々な行事に参加しています。

開校20周年を迎えるに当たり、これからも地域との連携を図りながら、子どもたちにふるさとであるお台場の良さを理解し、大切にする心を育てていきたいと思っています。



港区立中学校連合陸上大会

10月5日、港区立中学校10校の2年生が一堂に会し、連合陸上大会が行われました。今年も駒沢オリンピック公園総合運動場での開催となりました。大会当日は、台風が接近し天気が心配されましたが、時々小雨が降る程度で、無事にすべての競技が実施されました。

全員参加の100M走の他、ハードル走、中距離走、走り幅跳び、走り高跳び、ハンドボール投げ、4×100Mリレーの各競技に出場した20人は、これまでの練習を生かして他の学校の代表生徒たちと堂々と競い合いました。全力を尽くす仲間たちにスタンドからかけられる大きな声援が、駒沢競技場に響いていました。この大会を経験したことで、8年生は大きく成長しました。(8学年担任 市川 真行)



学芸発表会

爽やかな秋を横目に、冬の足音が少しずつ聞こえてくる10月の終わりに、お台場学園港陽小・中学校開校20周年記念学芸発表会を挙行することができました。ご参観いただいた保護者の皆様、地域の皆様に、厚く御礼申し上げます。児童・生徒は10月28日(児童・生徒鑑賞日)、29日(保護者鑑賞日)の2日間にわたり、日ごろの練習の成果を存分に発揮することができ、どの学年もとても素晴らしい発表となりました。

児童一人一人の成長を実感し、感動を覚える場面ばかりだったのではないのでしょうか。何を隠そう、私自身もその一人です。耳にだけではなく心に響く歌や演奏の数々、仲間と協力して作り上げた舞台の壮大な世界観。全ての学年において一回りも二回りも成長した児童・生徒の姿を見ることができ、胸が震え続けておりました。授業だけでは見えない児童・生徒自身が持つ生きる力や可能性に溢れた、そんな素敵な学芸発表会であったと感じております。

お台場学園港陽小・中学校開校20周年の節目の年に、学芸発表会を挙行できたことは、保護者、地域の皆様方の日々のご協力のおかげです。心から感謝申し上げます。私たちもお台場学園港陽小・中学校の伝統を守り、児童・生徒の豊かな成長のため尽力してまいります。これからも本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。(学芸発表会実行委員長 森島 康)



今月の生活目標 「しっかりと学習に取り組もう ～学習の仕方を見直そう～」

秋が深まり、お台場学園の木々も次第に色づいてきました。さて、先月末に行われた学芸発表会では、どの学年の生徒も演劇を成功させるために、みんなと協力して、一生懸命取り組む姿が見られました。今回のがんばりを今後の学校生活にも生かしてくれることを期待します。

今月の生活目標は学習面についての目標です。11月21日(月)から24日(木)の間、中学校では2学期期末考査があります。期末考査は中間考査と違って9教科となります。いかに早めにかつ計画的にテスト対策の勉強に取り組めるかが大切です。点数アップのポイントは、授業中や教科書・ワークなどの問題でわからなかった問題をきちんと理解することです。何事においても、できなかったことをできるようにすることで、自分の実力向上につながります。ワークなど丸つけをただけで終わりにしてしまっている人は、学習の仕方を見直してください。努力した分、実力は必ずついてきます。

(中学校生活指導主任 斎藤 孝太)

今月の目標 「進んで学習しよう」



4つのめあて (◎は重点目標です。)

- ◎係や当番の仕事をやりとげよう。 ○「～です。」「～ます。」をきちんと言おう。
- 思いやりの気持ちで接しよう。 ○廊下や階段は静かに歩こう。

秋の深まりを感じるようになりました。体調に気をつけながら充実した11月を過ごしていきたいと思います。10月28日・29日の学芸発表会に向け、1・3・5年生は音楽発表、2・4・6年生は演劇発表の練習に取り組んできました。友達と互いに励まし合いながら音楽や劇の練習をし、力を合わせて、最高の舞台を創ることができたのではないのでしょうか。日々の学校生活の中でも、委員会活動、学級の係活動、給食・清掃活動などを通して、友達と力を合わせ、協力することの大切さを感じてほしいと願っています。

(小学校生活指導主任 富樫 学)

読書週間～小・中図書委員会による取り組み～

本校では、春と秋に読書週間を設け、小・中図書委員会を中心に様々なことに取り組んでいます。小学校図書委員会では、読み聞かせやパネルシアターなどを行いました。休み時間には熱心に練習を重ね、高学年らしく責任を持ってやりとげることができました。リーディング・アドバイザー・スタッフや図書ボランティアの方による読み聞かせもあり、盛りだくさんの内容となりました。

中学校図書委員会では、ペープサートや絵巻物紙芝居を行いました。本の内容に合わせて紙人形を動かしたり落語の内容に挑戦したりと、中学生らしい工夫をし、大好評でした。また普段から、ジャンル別おすすめ本コーナーの設置や、本を教室まで届ける企画、本の返却を代理で行う企画など、様々な取り組みを通して、本に親しんでもらい、多くの生徒に図書ゾーンを利用してもらえるよう努力を重ねています。

本校では、各学年に応じて「お台場学園推薦図書」を設定しております。日頃から推薦図書を読む児童・生徒は多いのですが、特に読書週間では、図書委員会による呼びかけもあり、積極的に推薦図書を読む姿が見られました。お台場学園の児童・生徒には、これらの取り組みを通して、日頃から読書に親しんでもらいたいと考えております。

小・中図書委員会は、これからもたくさんのお本を読んでもらえるよう積極的に活動し、お台場学園全体で読書の習慣を身につけていきたいと思っております。

(小学校図書委員会担当 森田 夕紀、高橋 三根子、妻鹿 結美 中学校図書委員会担当 田名見 佳加)

お台場学園 10月の学校行事

《10月28・29日 学芸発表会》



1年



2年



3年



4年



5年



6年



7年



8年



9年



吹奏楽



中学合唱

しゅうねん でんとう
20周年の伝統が
いま まく あ
今、幕を開ける
かな こころ かがや
～奏でろ 心の輝きを～

【20周年記念式典】 11月12日(土)

【スクールカウンセラー 11月の相談日】

安藤 潤子 (小学校) 1日・8日・15日・22日・29日

広瀬 信慶 (中学校) 1日・8日・15日・29日

奥野 典子 (小・中学校) 4日・11日・18日・25日

○小学校 5500-2572 ○中学校 5500-2575

【ふれあい月間について】

11月は「ふれあい月間」です。学校では、友達間のいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動の未然防止や早期発見、早期対応ができるように具体的な取り組みを行っています。

本校では、学校生活に関するアンケートを実施して、問題行動の早期発見や未然に取り組んでおります。ご家庭でもお子様と友達や学校のことについて、じっくり話す時間を作っていただきたいと思います。